

# 新春 2017・藤沢七福神めぐり

(藤沢・江ノ島歴史散歩)

福田 利雄 (会員番号 11)

小田急線藤沢の駅に色鮮やかな「藤沢七福神めぐり」



のパンフレットが置いてあった。八つの寺社に祀られている幸運を招く七福神と史跡めぐりを兼ねて巡拝するものである。2月3日節分の日、晴天温暖な日和、日頃の運動不足、ウォーキングを兼ねて出かける事にした。

小田急線愛甲石田駅を10:00に出発した。  
小田急線相模大野駅で江ノ島線に乗り換え藤沢駅へ・・  
藤沢駅北口バス乗り場7番 (藤2、藤3系統) 烏森公園下車

## ❖ 一番 皇大神宮(恵比寿) 商売繁盛の神



藤沢市鶴沼にある神社である。8月17日の例祭日には氏子町内手作り(明治期)による高さ8mの人形山車九基が練歩く勇壮なお祭りが行われる。

次の巡り先「養命寺」まで、少し遠回りになるが引地川沿いを散策しながら行くことにした。



上村(かむら)橋から望む引地川、遠くにごみ焼却場の赤白の巨大な煙突が見える。川沿いには小さな公園もあり、可愛い天使のブロンズ像が建っていた。

## ❖ 二番 養命寺(布袋尊) 不老長寿・無病息災の神

皇大神宮から徒歩35分要した。予定しない寄り道をしてしまい10分ほど多めに歩いてしまった。

実は道を間違えてしまったのです・・(泣)



小さなお寺であった。安置されている本尊薬師如来は国指定重要文化財との事であったが、扉は閉ざされ本尊、布袋尊等参拝する事は出来なかった。

次の巡り先「白旗神社」までバス通りを歩くことにした。藤沢市のごみ焼却場の大きな煙突を見ながら、煙突の高さは120mあるそうです。途中、進学校で有名な藤沢湘南高校入口を横目に見ながら「藤沢本町」へと先を急いだ。

❖ 三番 白旗神社(毘沙門天) 知恵と勇気の守り神  
養命寺から約20分歩き「白旗神社」に13:00頃に着いた。神社前のハンバーガー店で軽く昼食をとり休憩した。



東海道藤沢宿総鎮守の神社であり、奥州平泉で自害した源義経の首級が鎌倉に送られ、弁慶と共にこの白旗神社に合祀されたと伝承されている。境内では藤沢こども豆まきの準備中であった。神社の真裏を「藤沢バイパス」が走っているが境内は以外と静かであった。



次の巡り先「常光寺」まで歩いて約10分の距離である。藤沢市民病院の白くて大きな病院の建物を見ながら・・

## ❖ 四番 常光寺(福祿寿) 幸運・財宝・長寿の神



源義経に従った武蔵坊弁慶の霊を祀る八王子社があったといわれ、境内には、弁慶塚と彫られた石塔が残されている。



山門のすぐ左手には六地藏とこどもを抱いた観音様が建っている。天然記念物カヤの大木があり静寂な樹林があり癒される空間を呈していた。

次の巡り先「諏訪神社」へ行く途中に、大きな寺院を見かけたので立ち寄り少しだけ見学した。

## 時宗総本山「遊行寺」



広大な敷地を持つ大きな寺院であった。節分豆まき会が終わったのか沢山の人が参道を下って来るところであった。寺院東側の県道30号線は坂道で箱根駅伝の難所として知られている。

五番 諏訪神社(大黒天) 富貴・長寿の神



県道30号線、遊行寺の向かい側に建つ小さな神社であった。遊行寺と深い関係があるようで遊行寺の鎮守として建立されたと記されてあった。

諏訪神社は全国に約25,000社建立されている事を知った。

六番 感応院(寿老人) 長寿の神



境内には立派な弘法大師の修行姿の銅像が建っており、鐘楼もあった。訪れているのは私だけであった。時刻も14:30を過ぎ、足腰が少しだけ

痛くなってきた。最寄りのバス停「藤沢橋」へ向かう。

藤沢橋から、バス利用、藤沢駅へ  
藤沢駅から、江ノ島電鉄乗車、江ノ島駅へ



「江ノ電」江ノ島駅を初めて利用した。小田急片瀬江ノ島駅に比べると小さな駅であった。龍口寺へはこの駅から徒歩約5分位の距離にある。

七番 龍口寺(毘沙門天) 知恵と勇気の守り神



日蓮聖人の龍ノ口法難の霊場として名高い日蓮宗霊跡の本山である。大きなお寺であった。節分豆まきの後片付けがなされていた。

龍口寺の毘沙門天は 鎌倉・江ノ島七福神 の一つでもある。

江ノ島駅から、すばな通り、江ノ島弁天橋をわたり江島神社へ、七福神めぐり最後の巡拝先である。

八番 江島神社(弁財天) 商売・芸能の神



江の島には久しぶりに訪れたが、さすが人気観光スポット！老若男女、外国の方など多くの人々が訪れていた。江島神社でも節分豆まき会が

催されたようで、やはり、後片付けの最中であった。



『江ノ島弁財天』

日本三大弁財天の一つである。六角堂にお祀りされている「琵琶を抱えた弁天様」お目にかかりたかったが・・・。

江島神社には中津宮、辺津宮、奥津宮の三つの社がある。お祭神は三人姉妹の女神さま、そのためか若い女性の方が多く訪れている様な印象を以前より持っていた。



江島神社への参道にキティちゃんて有名な「はろうきてい茶寮」が昨年12月にオープンした様で多くの若者たちで賑わっていた。

16:30 藤沢江の島七福神めぐり、何とか無事に終える事が出来た。日も落ちてきた。江ノ島弁天橋で、この後



夕暮れ時から始まるイルミネーション「湘南の宝石」を楽しみにやってくるカップルの方を数多く見かけた。

新春藤沢七福神めぐり (藤沢・江の島歴史散歩1/7~1/31開催)

藤沢市が健康推進の目的で約20年前から実施しているイベントである。スタンプラリーで完歩すると記念品の開運干支暦手拭が1枚100円で手に入れることができる。定年後の第二の人生、縁があり藤沢で職を得て4年になろうとしているが、藤沢の街の事は何も知らない・・・。藤沢の街、歴史を知りたいという思いがあり、イベントは終了していたが「節分の日」に歩いてみたのである。期間中は各寺社に七福神めぐりの「のぼり旗」がはためき、スタンプ台が設けられ、扉も開いており、本尊、七



福神さまなどに参拝できた様であるが、今回の七福神めぐりは単にコースを歩いたとの思いが強い。それでも多くの寺社を訪ね、街

を散策し、多くの発見があった。日本各地には「七福神めぐり」のコースが無数に有り、神奈川県内にも数多くある事を知った。南はだの村七福神と鶴亀めぐり・・・など。四季の花々が見頃の時期に<頑張っ>歩いてみたい。

人は歩みをとめたときに、そして挑戦をあきらめたときに  
に年老いていくのだと思います。 (By アントニオ猪木)